

DVDを見て、次の問いに答えてみよう。

1 地震に備えた住居の対策として、下の言葉を簡単に説明しましょう。

- 免震 (揺れそのものを少なくする構造 (建物の支柱の下を滑るように動く土台の鉄板や、床下と地面をつなぐゴムによって揺れを吸収する))
- 耐震 (建物自体を頑丈に作る構造 (柱と柱の対角線に補強材を取りつける筋交いなど))

2 以下の文は、地震に対する日常的な備えについて書かれたものです。() に当てはまる語を【語群】から選んで書きましょう。

私たちが過ごす住居や学校では、大きな地震に耐えるため(耐震化)が進められています。建物を鉄骨で補強したり、柱の間に部材を斜めに入れる(筋交い)で補強したりしています。

室内では、家具などの(転倒)や(落下)に気を付けなくてはなりません。家具を(金具)や(つっぱり棒)で壁や天井に固定して、大きな地震に備えておきましょう。

【語群】 転倒 つっぱり棒 防犯 耐震化 金具 落下 筋交い ゴム 画鋸

3 防災グッズについて、常備しておきたいグッズを書き出してみよう。

自由記述

4 以下の文は、ハザードマップや災害用伝言ダイヤルについて書かれたものです。() に当てはまる語を【語群】から選んで書きましょう。

ハザードマップとは、災害時の(危険地域)や(避難場所)などを指し示した災害予測図のことです。大規模な災害が起こり、電話が通じなくなったときは、(171)をダイヤルし、災害用伝言ダイヤルを利用しましょう。また、(災害用伝言板)と呼ばれる(インターネット)上の伝言板もあります。

【語群】 インターネット 危険地域 171 009 災害用伝言板 避難場所 交番

月 日 曜日 年 組 番 氏名:

5 以下の文は、火災の原因や電子レンジによる事故について書かれたものです。正しいものには○を、誤りのあるものには×をつけましょう。

- (○) テーブルタップにたくさんのコンセントを付けている状態を、「たこ足配線」という。
- (×) たこ足配線は、流れる電流量を調整できるため、防火対策によい。
- (×) 電化製品のコードは、束ねておくと高温にならず、火災の原因になりにくい。
- (○) 暖房器具のそばにスプレー缶などを置くと、爆発する恐れがある。
- (×) 電子レンジは、火を使わないため、火災になる心配がなく安全である。
- (○) 電子レンジで液体を加熱すると、突然沸とうすることがある(突沸)。
- (×) 住宅用火災警報器は、住民の判断で設置の有無を決める。

6 以下の分は、住居の防犯について書かれたものです。() に当てはまる語を【語群】から選んで書きましょう。

<同じ語を2回以上使ってもよい>

空き巣など住居に侵入する犯罪では、玄関ドアの鍵を開けて侵入する手口が多い。(ピッキング)は、施錠してある鍵穴に特殊な器具を差し込んで操作し、鍵を開ける。(ピッキング)で狙われやすい鍵穴は、(くの字)型のものである。(サムターン回し)は、ドアに穴を開けて内側から鍵を開ける。予防策として、鍵には(サムターンカバー)をするとよい。また、(窓)から侵入する手口もあるので、必ず鍵をかけるように心がけよう。

防犯の手段として、侵入者をセンサーで感知し、警備員が駆けつける(ホームセキュリティ)サービスなどもある。

【語群】 サムターン回し ピッキング サムターンカバー くの字 垂直 平行
 ホームセキュリティ ドライバー 壁 窓 天井 ドアチェーン

7 あなたが暮らしている住居や部屋を思い出してみよう。防災、防犯のためにできることはないだろうか。書き出してみよう。

自由記述